

基礎知識編

予算についてのいろいろな「おしえて！」についてお答えします。

予算とは！

Q 予算ってなんだろう？ おしえて！

A 予算とは、1年度間(4月から翌年の3月まで)の収入(入ってくるお金)と支出(使うお金)を前もって見積もることです。

那覇市では、新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのぐらいの収入があるのか？そしてその1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。那覇市の予算書には、これからの1年間のお金の使いみちが記されています。市役所等の行政機関では、4月から翌年の3月までの1年間を年度といいます。

予算の決め方は？

Q どうやって那覇市の予算を決めるの？ おしえて！

A 市長が予算案をつくります。そして、市議会の審議と議決によって成立します。

那覇市役所のそれぞれの担当部局は、市民のみなさんの意見や要望を聴き、「向こう1年間の行政サービス」を検討します。市長は、各担当部局の案を自分の考えにそって予算案をまとめ、市議会に提案します。

市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで市議会の議決により予算を決めます。

予算の変更は？

Q 一度決めた予算は、変えることはないの？ おしえて！

A 変えることがあります。補正予算といいます。

市議会で決定した予算を使っていくうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提案します。この予算のことを補正予算といいます。

予算のその後は？

Q 予算を使ったあとは？ おしえて！

A その年度の予算の収支の結果を決算書として作成し、報告します。

入ってくる予定のお金とそのお金の使いみちが予算でした。その予算を使った結果を決算といいます。決算では、1年間に予算の範囲内で行政サービスを行った結果をあらわしています。つまり、新しい年度が始まる前に決めた予算とその後の補正予算で見積もった収入と支出の結果（入ってきたお金と使ったお金）が決算です。決算書は会計管理者がつくり、市長が市議会の認定を受けることになります。

予算の規模は？

Q 那覇市の予算の規模は？ おしえて！

A 「一般会計予算」では、1,344億7,000万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」をあわせると、2,268億8,789万円になります。

一般会計予算 1,344億7,000万円

一般会計とは、教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計のことです。主な収入は、市税（市民税や固定資産税など）や国・県支出金などです。

特別会計予算 785億9,359万円

特別会計予算とは、特定の目的のための会計予算で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計予算から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。那覇市には、7つの特別会計があります。

- ・土地区画整理事業特別会計（1億6,347万円）
- ・国民健康保険事業特別会計（497億8,291万円）
- ・市街地再開発事業特別会計（18億5,381万円）
- ・介護保険事業特別会計（233億9,681万円）
- ・後期高齢者医療特別会計（29億8,371万円）
- ・病院事業債管理特別会計（3億2,536万円）
- ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計（8,751万円）

+

+

公営企業会計予算 138億2,431万円

那覇市では、水道事業及び下水道事業の2つの公営企業会計予算があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

- ・水道事業会計予算（78億9,784万円）
- ・下水道事業会計予算（59億2,646万円）

※平成20年度から病院事業会計は、地方独立行政法人へ移行しました。

=2,268億8,789万円

